

令和5年度事業報告書

I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って令和5年度も、細胞科学分野における研究助成10件、国内若手研究者の育成助成として海外への留学10件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘2件を実施した。

なお、令和5年度より育成助成金額を1件120万円、採択数10件とした。

令和6年度の各種助成のためにそれぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成100件、育成助成50件、国際交流助成3件の応募があった。なお、令和6年度より研究助成金額を1件500万円（助成期間：2年間 採択数10件）とし、育成助成は対象を海外留学のみにした。また、国際交流助成金額を1件20～100万円（総額500万円）に変更した。

これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、令和6年度助成対象者を選出した。また、令和3年度各種助成金贈呈者を中心に、研究成果として研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

II. 事業の内容

1. 令和5年度助成金の交付

令和5年度各種助成については、研究助成10件、育成助成10件および国際交流助成2件が令和5年3月18日開催の令和4年度第5回理事会において議決承認された。令和5年4月より研究助成10件（1件300万円、総額3,000万円）、育成助成10件（1件120万円、総額1,200万円）および国際交流助成2件（1件50万円、総額100万円）のそれぞれに順次、助成金を交付した。〔資料1〕

2. 令和5年度研究助成金贈呈式開催

令和5年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

開催日時：令和5年6月3日（土）午前11時30分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

3. 令和6年度助成事業

（1）各種助成の募集の細目

令和5年4月24日開催の企画委員会での検討を経て、令和5年5月17日の第1

回理事会（書面決議）で以下のように決定した。

研究助成

募集テーマ：①シングルセル解析－生命機能と病態－

②臓器連関

応募受付期間：令和5年9月1日から令和5年9月29日まで

専門委員：テーマ① 油谷 浩幸（東京大学 先端科学技術研究センター ゲノムサイ
エンス&メディシン分野 シニアリサーチフェロー）

二階堂 愛（東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム機能情報
分野 教授）

[選考委員からの専門分野担当]

本田 賢也（慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学 教授）

テーマ② 植木 浩二郎（国立国際医療研究センター研究所
糖尿病研究センター長）

山田 哲也（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
分子内分泌代謝学分野 教授）

[選考委員からの専門分野担当]

柳田 素子（京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学 教授）

※所属・役職は就任時

なお、令和6年度より研究助成金額を1件500万円（採択数10件）に増額、助成
期間を2年間とし、原則2年間で助成金を使い切ることを条件とした。

育成助成および国際交流助成

応募受付期間：令和5年9月1日から令和5年10月31日まで [資料2]

なお、令和6年度より育成助成は対象を海外留学のみとし、国際交流助成金額は1
件20～100万円（総額500万円）に増額した。

(2) 募集

研究助成

全国の国公立私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設180を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計100件（テーマ①：66件、テーマ②：34件）であった。

育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は50件であった。

国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は3件（招聘）であった。

(3) 選考

研究助成：三段階方式による選考

1. 令和5年10月18日～11月20日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として26件（テーマ①：14件、テーマ②：12件）に絞られた。
2. 令和5年12月4日～令和6年1月19日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
3. 令和6年2月6日：本審査（以下の通り）

育成助成および国際交流助成

1. 令和5年12月4日～令和6年1月19日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
2. 令和6年2月6日：本審査（以下の通り）

令和6年2月6日：本審査

開催日時：令和6年2月6日（火）午後4時30分より

場 所：東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内 1-9-1）

選考委員および専門委員により令和6年度各種助成交付対象者（研究助成11件：1件500万円 総額5,500万円、育成助成10件：1件120万円 総額1,200万円および国際交流助成3件：100万円2件、85万円1件 総額285万円）が選出され、理事長に答申された。令和6年3月12日に開催された第3回理事会において、原案通り議決承認された。〔資料3〕

4. 助成研究報告集等

令和3年度各種助成金受領者を中心に、研究成果として研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめた細胞科学研究財団助成研究報告集第34巻（令和5年）、および財団年報第35号（令和4年度）を一冊に収めた「助成研究報告集・年報第8巻（令和5年）」を令和5年10月1日に発刊し、全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

Ⅲ. 財団運営の概況

1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和5年5月17日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 令和4年度事業報告および令和4年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 令和6年度各種助成募集に関する件：原案通り承認可決された。なお、研究助成金を1件500万円に増額すること、また国際交流助成金については1件20万円～100万円(総額500万円)に増額することについても同意を得た。

第3号議題 令和5年度定時評議員会開催日、場所、目的である事項の件：原案通り承認可決された。

2. 定時評議員会

開催日時：令和5年6月3日（土）午前11時より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第1号議題 議長選任の件：互選により花崎浩二氏が評議員会議長に選任された。

第2号議題 議事録署名人選任の件：互選により澤田拓子氏および武田禮二氏が選任された。

第3号議題 令和4年度事業報告および令和4年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

報告事項1 令和6年度各種助成募集について：令和5年度第1回理事会で承認されたことを報告した。

3. 第2回理事会

開催日時：令和5年6月3日（土）午前11時15分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第1号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。なお、昨年の剰余金については助成金支払準備資金を設置し、令和5年度から増額を予定している育成助成などの助成金の支払いに充当して費消したことを報告した。

第2号議題 令和6年度助成金準備資金設置の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 費用の弁償及び報酬に関する規則改定の件：原案通り承認可決された。
報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和5年3月18日以降の業務執行状況報告を行った。

4. 第3回理事会

開催日時：令和6年3月12日（火）午後5時より

場 所：塩野義製薬株式会社東京支店
（東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング7階）

第1号議題 令和6年度助成交付者の件：原案通り承認可決された。

なお、研究助成の次点者について、大変優れた研究内容であり書類審査の得点も僅差で優劣をつけ難いことから、採択数を1件増やした計11件を研究助成の採択者として選出することについても承認可決された。

第2号議題 令和6年度助成金準備資金計画変更の件：令和6年度研究助成金交付件数の変更（10件→11件 500万円/件）に伴い、令和5年6月に令和5年度第2回理事会の決議に基づいて設定した令和6年度助成金準備資金(5,000万円)の積立限度額を500万円追加して計5,500万円に変更し、積立額も5,500万円に変更することについて、原案通り承認可決された。

第3号議題 第四回塩野賞準備資金の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 令和6年度事業計画の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 令和6年度収支予算の件：原案通り承認可決された。

第6号議題 資金調達及び設備投資の見込みについて：原案通り承認可決された。

第7号議題 選考委員長任期満了に伴う改選の件：原案通り承認可決された。

第8号議題 令和5年度臨時評議員会開催の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和5年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

5. 臨時評議員会（評議員会の決議の省略による方法）

理事長は、評議員の全員に対して評議員会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和6年3月22日までに評議員の全員から同意する旨の意思表示を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改定の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 令和6年度助成金準備資金計画変更の件：原案通り承認可決された。

6. その他

- 令和5年5月18日 内閣府に公益目的事業内容の変更届(育成助成において国内留学を対象外とする)をWeb提出
- 令和5年6月23日 内閣府に令和4年度事業報告書等の定期提出書類をWeb提出した。
- 令和6年3月26日 内閣府に令和6年度事業計画および予算の定期提出書類をWeb提出した。

IV. 添付資料

- [資料1] 令和5年度各種助成金受領者名簿
- [資料2] 令和6年度各種助成募集要項
- [資料3] 令和6年度各種助成金受領者名簿

以上

令和 5 年度 研究助成金受領者
(第 5 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : エクソソーム(細胞外小胞) : 基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
佐藤 裕公 サトウ ユウコウ	群馬大学生体調節研究所・准教授	哺乳類の受精におけるエクソソームの必要性に関する解析
富樫 庸介 トガシ ヨウスケ	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 腫瘍微小環境学・教授	細胞外小胞を介した腫瘍微小環境における代謝異常の解明
服部 一輝 ハトリ カズキ	東京大学 先端科学技術研究センター・特任助教	細胞外微粒子を介した細菌—哺乳類細胞間相互作用の一括解析
丸山 健太 マルヤマ ケンタ	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究所 生体機能調節研究領域・特任准教授	腸管内 RNA による大腸癌進展調節機構の解明と応用
南 聡 ミナミ サトシ	大阪大学大学院 医学系研究科 生化学・分子生物学講座 遺伝学教室・特任助教	エクソソームを用いたオートファジーモニタリング方法の開発

テーマ 2 : メカノバイオロジー : 分子から個体

研究者	所属機関・職名	研究題目
遠藤 瑞己 エントウ ミズキ	東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻分析化学研究室・助教	生きた個体内で物理的シグナル伝達を光操作する技術基盤の構築
岡本 麻友美 オカモト マユミ	名古屋大学大学院 医学系研究科 細胞生物学・助教	大脳発生過程におけるメカノセンサーチャンネルを介した細胞増殖制御機構の解明
進藤 麻子 シンドウ アサコ	熊本大学 発生医学研究所・独立准教授	アドレナリンシグナルによる組織のメカノマネジメントと形態恒常性
高野 晴子 タカノ ハルコ	日本医科大学 先端医学研究所 病態解析学部門・講師	肺胞形成における血管内皮細胞を基軸とするメカニカルシグナルの解明
福井 一 フカイ ハジメ	国立循環器病研究センター研究所 細胞生物学部・室長	双方向性血行力学による心臓管腔組織形成メカニズムの解明

令和5年度 育成助成金受領者
(第5回理事会において議決)

(1件120万円 10件, 1,200万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
板倉 拓海 イクラ タキ	東京大学 農学生命科学研究科・研究員	神経細胞集団における細胞内シグナル伝達機構の操作・観察技術を用いた恐怖の減衰機序の解明 California Institute of Technology
井上 晋一 イノウエ シンイチ	University of Pennsylvania Perelman School of Medicine Institute for Diabetes Obesity and Metabolism ・Postdoctoral Fellow	熱産生を維持亢進させる寒冷環境記憶メカニズムの解明 University of Pennsylvania Perelman School of Medicine
岩崎 順博 イワサキ ヨリヒロ	マサチューセッツ総合病院 内分泌部門・リサーチフェロー	GNAS インプリント制御破綻の分子基盤解明と治療法探索 マサチューセッツ総合病院・ハーバード大学医学部
鎌田 修平 カマダ シュウヘイ	千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学・特任助教	腎がんの浸潤・転移機構と免疫微小環境の解析 The University of Texas Southwestern Medical Center
鈴木 淳 スズキ アツシ	名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科・病院助教	慢性移植肺機能不全の病態解明及び単球由来肺胞マクロファージを標的とした新規治療開発 Northwestern University Feinberg School of Medicine
谷川 聖 タニガワ サン	北海道大学 創成研究機構 化学反応創成研究拠点・特任助教	神経変性疾患研究のためのヒト脳由来細胞培養液の開発-ヒト脳の神経病理学的知見と細胞培養液の知見との比較 トロント大学タンツ神経変性疾患研究センター
原 怜史 ハラ レイシ	金沢大学 医薬保健研究域 医学系 医学教育研究センター・助教	galectin-8 を標的としたループス腎炎の糸球体硬化進展機序の解明と治療開発 University of Chicago

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
平賀 慎一郎 ヒラガ シンイチロウ	大阪大学大学院 医学系研究科 創薬神経科学共同研究講座・特任助教	中枢神経系疾患におけるミクログリアの時空間的多様性 The Institute of Neuropathology University of Freiburg
向井 康治朗 ムカイ コウジロウ	東北大学大学院 生命科学研究所 細胞小器官疾患学分野・助教	The impact of en masse virus infections on host innate immune defenses アメリカ国立衛生研究所
矢野 誠一 ヤノ セイチ	九州大学大学院 医学系学府医学専攻 病態制御内科学分野・大学院生	肥満における脂肪組織特異的マクロファージのエピジェネティックな制御機構の解明 University of California San Diego

令和5年度 国際交流助成金受領者
(第5回理事会において議決)

(1件50万円 2件, 100万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関・職名	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
小林 和人 コバヤシ カズト 福島県立医科大学医学部 附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門・教授	SUSAN L. ACKERMAN University of California San Diego / HHMI	第46回日本神経科学大会 2023/08/01 ~ 2023/08/04 宮城県仙台市
吉森 保 ヨシモリ タモツ 大阪大学大学院 医学系 研究科遺伝学・教授	Harald Stenmark University of Oslo	第75回日本細胞生物学会大会 2023/06/28 ~ 2023/06/30 奈良県

研究助成 募集要項

1. 研究助成の対象となる**テーマ：**

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。
但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。

- ①「シングルセル解析 -生命機能と病態-」
- ②「臓器関連」

2. 助成金額：

500万円/1件（助成期間：2年間）

採択件数：

10件以内

3. 応募資格：

国内の研究機関等に所属する令和5年9月1日現在満45才未満の独立した研究者
（大型研究費を受けておられる方はご遠慮ください）

4. 応募方法：

- (1) Web システムよりご応募ください。
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。
- (2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）
あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得てください。
推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し
役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に
限り推薦できます。
- (3) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

5. 応募受付期間：

令和5年9月1日（金）より9月29日（金）

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させて
いただきます。
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

**9. 採否通知および
助成金の交付について：**

採否は決定後直ち（令和6年3月頃）に申請者へお知らせいたします。
助成金は令和6年4月以降に全額を贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996
URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>
（または右記QRコード）



育成助成 募集要項

1. 育成助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、海外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。

イ. 当財団理事または評議員あるいは所属機関長・所属部門長(部長、専攻長等ただし教授を除く)の推薦を受けた者(各推薦者は1名に限り推薦できます)

ロ. 令和5年9月1日現在満40才以下の研究者

ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(令和6年4月以降令和7年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者

ニ. 原則として1年以上の育成期間を予定している者

ホ. 他機関からの助成金との重複は可能です。

ヘ. 留学先の変更は認められません。

2. 給付金額：

1件120万円/年

採択件数：

10件

3. 給付期間：

1年間

4. 応募方法：

(1) Webシステムよりご応募ください。

詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。

(2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

5. 応募受付期間：

令和5年9月1日(金)より10月31日(火)

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および留学報告書を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

9. 採否通知および

助成金の交付について：

採否は決定後直ち(令和6年3月頃)に申請者へお知らせいたします。

助成金は令和6年4月以降に贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪府中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>

(または右記QRコード)



国際交流助成 募集要項

1. 国際交流助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。

イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者

(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)

ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者

ハ. 年度内(令和6年4月以降令和7年3月末までの間)に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者
なお、Web開催での会議、シンポジウムも対象といたします。

ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。

2. 助成金額：

20～100万円／1件 総額500万円

(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短、開催方法等を勘案して決定されます。希望助成額の大まかな内訳をご記入ください)

3. 応募方法：

(1) Web システムよりご応募ください。

詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。

(2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

4. 応募受付期間：

令和5年9月1日(金)より10月31日(火)

5. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

6. 報告義務：

収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。

7. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

8. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち(令和6年3月頃)に申請者へお知らせいたします。

助成金は令和6年4月以降に贈呈いたします。

9. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>

(または右記QRコード)



令和6年度 研究助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件 500万円 11件, 計 5,500万円)

テーマ1：シングルセル解析－生命機能と病態－

研究者	所属機関・職名	研究題目
飯野 祐介 イノ ユウスケ	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 史研究室・研究員	単一細胞での受容体発現データを駆使した抗精神病薬の作用機序の探索
大澤 志津江 オオサキ シヅエ	名古屋大学大学院 理学研究科 生命理学領域 遺伝学グループ・教授	貪食マクロファージを介したがん促進機構の解明
小林 央 コバヤシ ヒロシ	国立国際医療研究センター研究所 生体恒常性プロジェクト・上級研究員	Transformerモデルによる造血幹細胞の転写－代謝統合モデル作成と代謝・分化ハブ遺伝子の同定
城村 由和 シヨウムラ ヨシカズ	金沢大学 がん進展制御研究所 がん・老化生物学研究分野・教授	シングルセル解析技術を用いた『一過性の老化細胞』と『慢性の老化細胞』の違いを生み出すメカニズムの解明
中嶋 悠一郎 ナカジマ ユウイチロウ	東京大学大学院 薬学系研究科 薬科学専攻 遺伝学教室・講師	加齢に伴う腸管上皮の脱分化機構の変容解明とその制御
中野 正博 ナカノ マサヒロ	理化学研究所 生命医科学研究センター ヒト免疫遺伝研究チーム・訪問研究員（日本学術振興会特別研究員）	高精度シングルセルデータを用いた大規模統合 eQTL 解析による自己免疫疾患の病態機構の解明
松下 祐樹 マツタ ユウキ	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科兼歯学部 細胞生物学分野・准教授	シングルセル空間解析を活用したがん微小環境の全容解明

テーマ2：臓器連関

助成金額：1件 500万円

研究者	所属機関・職名	研究題目
井上 大地 イノウエ ダイイチ	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部・部長	クロマチン解析とエクソソームより紐解く造血と骨の臓器連関
佐々木(久我) 奈穂子 ササキ ナホ	東北大学大学院 薬学研究科 薬理学分野・日本学術振興会特別研究員	末梢臓器を起点とした迷走神経伝達と精神機能への影響の解明
中田 雄一郎 ナカタ ユウイチロウ	千葉大学大学院 医学研究院 疾患システム医学・特任助教	組織間移行を超えて保存されるエピジェネティックメモリーが起因する心不全発症メカニズムの解明
中村 修平 ナカムラ シュウヘイ	奈良県立医科大学 医学部・医学科 生化学講座・教授	生殖と寿命のバランス制御の中核を担う組織間コミュニケーションの解明

令和6年度 育成助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件120万円 10件, 1,200万円)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
海渡 智史 カト サシ	国立がん研究センター がんRNA研究分野・日本学術振興会 特別研究員	DNAメチル化阻害剤の耐性機構におけるTOPORSの機能解明 Memorial Sloan Kettering Cancer Center
桑原 高佳 クハラ タカヨシ	東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 細胞生理化学研究室・大学院生	過剰な攻撃性の制御に繋がる、マウスの攻撃行動が抑制される際の神経回路機構の同定 ニューヨーク大学
佐藤 達之 サウ タツキ	自治医科大学 分子病態治療研究センター 循環病態・代謝学研究部・日本学術振興会特別研究員	免疫細胞に着目した新たな心不全療法の開発 Harvard Medical School/Beth Israel Medical Center
關場 一磨 セキバ カズマ	Stanford University Department of Pathology ・Postdoctoral Scholar	ヒトの細胞活動を司る腸内細菌代謝経路の網羅的同定と疾患制御への応用 Stanford University School of Medicine
長谷川 祐人 ハセガワ ユウト	ジョンズホプキンス大学 医学部 精神行動科学部門 ・Research associate	思春期大麻使用によるミクログリアを介した脳発達障害メカニズムの解明 ジョンズホプキンス大学 医学部
平田 悠 ヒラタ ユウ	神戸大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学 ・学術研究員	ミクログリアに着目した運動による糖尿病改善機構の本態解明 University of California San Diego
細川 友誠 ホシカワ ユウセイ	神戸大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門・医学研究員	白色脂肪組織における代謝物を介した全身の代謝制御機構の探索 Harvard Medical School Dana-Farber Cancer Institute

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
三根 敬一郎 ミネ ケイイチロウ	佐賀大学 医学部内科学 内科学講座・特任助教	インスリン様ペプチド産生細菌の腸内共生 が次世代の1型糖尿病へ及ぼす影響の解明 Boston College
山口 亜斗夢 ヤマガチ アトム	神戸大学大学院 保健学研 究科 リハビリテーション 科学領域・大学院生	骨格筋由来エクソソームのがん抑制効果の 解明 ハーバード大学
綿村 直人 ワタムラ ナホト	University College London Dementia Research Institute・Research Fellow	次世代型マウスモデルを用いた時空間的一 細胞解析によるタウオパチー発症機構の解 明 University College London

令和6年度 国際交流助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(100万円2件, 85万円1件, 285万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関・職名	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地	助成金額
岡田 康志 カダ ヤシ 東京大学大学院 医学系研究科 分子細胞生物学専攻 細胞生物学教室・教授	Fiona Watt キングス・カレッジ・ロンドン 幹細胞・再生医学センターおよび欧州分子生物学機構(EMBO)	第76回日本細胞生物学会大会 2024/07/17 ~ 2024/07/19 つくば国際会議場	100万円
岡部 繁男 カベ シゴ 東京大学大学院 医学系研究科・医学部 神経細胞生物学分野・教授	Baljit S. Khakh UCLA	NEURO2024 2024/07/24 ~ 2024/07/27 福岡コンベンションセンター	100万円
田口 英樹 タグチ ヒデキ 東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター・教授	Richard Morimoto ノースウエスタン大学	第6回細胞内プロテオスタシス国際会議 2024/09/02 ~ 2024/09/05 ザ・ルイガンズ スパ&リゾート福岡 (福岡県東区西戸崎18-25)	85万円

前記のとおりご報告いたします。

令和5年6月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩野元三